

令和8年度「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体（7団体・助成金額合計：530万円）

団体名	所在地	助 成 対 象 事 業					助成金
		団体概要・活動実績	交流相手	交流人数	日程	内容・目的（◆印は申請書記載の事業名）	
藤岡ーリジャイナ かけ橋プロジェクト	群馬県	2019年8月の藤岡市とカナダ・リジャイナ市のフレンドシップ協定締結を契機に設立された市民主体の国際文化交流団体。次世代を担う子どもたちを中心に据えた文化・芸術の交流を通じ、市民が主体的に参加できる双方向の文化交流を継続的に創出することを目的としている。リジャイナ市日本文化クラブ内のリジャイナ藤岡フレンドシップ委員会と連携し、市民参加型の交流活動（オンライン交流や絵本寄贈、ホームステイ事業など）を通じ、コロナ禍でも交流を途切れさせず継続してきた。2025年度は、藤岡市教育委員会が実施した2都市間の中学生交換プログラムのサポートを行うとともに、かけ橋プロジェクトメンバーが実際にリジャイナ市を訪問し、市民家庭でのファミリーホームステイ事業を実施。これらの交流基盤を維持し続けてきた活動が評価され、2024年度には群馬県国際交流賞を受賞した。	カナダ	派遣6名	2026/8/27～ 8/31 (5日間)	◆藤岡まつりin Regina ～市民による祭囃子の交流～ 本事業は、藤岡市で長年受け継がれてきた藤岡まつり（13町内の山車囃子）および鬼石まつり（5地区の山車囃子）の二つの伝統文化を担う、市民主体の囃子保存会をリジャイナ市へ派遣し、現地市民との共同演奏を実施することで郷土芸能を通じた参加型の国際文化交流を創出することを目的としている。古くから地域の誇りとして守り継がれてきた祭囃子を、友好都市リジャイナ市の市民と共に演奏することで、単なる文化紹介にとどまらない、市民同士の協働と相互理解の深化を目指します。市民参加型の体験機会を創出し、祭囃子ワークショップ、合同演奏、ステージ発表、文化交流会を実施し、藤岡市の郷土芸能の魅力や継承の背景を市民に共有する。	100万円
銚子正調大漁節保存 ひびき連合会	千葉県	初代 金島源六が1877年に銚子ばやしの指導を始めたのが起源となり、銚子地方で指導を続け、地元の祭りではなくてはならない鳴り物として銚子の郷土文化を支えてきた。代が受け継がれるにつれ、指導は銚子市内に留まらず、今では日本全国において金島家の教え子が多数存在している。1976年にアメリカの建国200年祭へ参加に際し「ひびき会」と命名、指導してきた各団体が加盟し現在11団体150名の会員が在籍している。ひびき会の鳴り物は、各地域の祭りで神輿の先導の鳴り物・盆踊り演奏など地域でなくてはならない存在。毎年8月に「ひびき連合会大盆踊り大会(44回開催)」を開催。銚子正調大漁節・大漁踊りを新たな世代に継承し、地元での娯楽や愛着形成に寄与している。また、隔年で海外に招聘され千葉県の郷土民謡の演奏を行っている。国内では千葉国体のオープニングや各地の太鼓フェスティバルへの参加し、特に、太鼓を打ち鳴らしながら跳ね回る「跳ね込み太鼓」、段々調子が早まり盛り上がる「早打ち太鼓」、銚子での豊漁を歌われた「銚子正調大漁節、大漁踊り」が人気となっている。	アメリカ	派遣16名	2026/7/20～ 7/25 (6日間)	◆マジック・バレエ・フォーク・フェスティバル マジックバレエ・フォーク・フェスティバルでは、各国のお祭りのパフォーマンスと国際交流を通して、マジックバレエ全体を一つに結びつけます。あらゆる背景を持つ人々との友情や地域の誇りを育み、観光を促進し、マジックバレエの人々の生活を豊かにし、幅広いコミュニティの参加を促しながら、最高の文化イベントへと成長することを目指す。	100万円
品川ジュニアストリングオーケストラ	東京都	品川ジュニアストリングオーケストラは、音楽を通じて人間を育てることを提唱した故鈴木鎮一が創設したスズキ・メソッドでヴァイオリン、ヴィオラ、チェロを学ぶ子どもたちで構成されている。国内では品川弦楽団として活動。自分の個性を發揮しながら仲間と協力して一緒に音楽を作り上げる楽しさや感動を体験できるアンサンブル教育を目指している。メンバーは小学生から大学生まで年齢は幅広く、弦楽の曲を中心に毎年コンサートを行っている。海外演奏旅行はこれまで7回行い、過去に外務省、文化庁、大使館から後援をいただき音楽親善大使として邦人の曲や日本民謡を紹介し、交流国の作曲家の曲も演奏してきた。	チェコ、 オーストリア	派遣53名	2026/8/25～ 9/3 (10日間)	◆品川ジュニアストリングオーケストラ 第8回海外演奏旅行 音楽を通して人間を育てることはスズキ・メソッドの理念。品川ジュニアストリングオーケストラにとって第8回目となるヨーロッパ演奏旅行での演目は、渡航先のチェコを代表する作曲家のヤナーチェクや、日本の作曲家の芥川也寸志の作品など様々な曲で構成されている。今回もヤングブラハ音楽祭に招聘されており、チェコのリトミシュルでKOS合唱団との交流と合同演奏会、ワルトシュタイン宮殿のコンサートではチェロのトマーシュ・ヤムニーク氏とハイドンのコンチェルトを共演する。この演奏旅行を通じて、子どもたちが音楽の本場で文化と歴史に触れ、演奏することで文化交流を体験して、その経験を生かして立派な社会人へと成長していく礎になることを願っている。すでに練習は始まっており、ヨーロッパでの演奏に日本を代表して行くことに気を引き締め、高校生大学生中心に自主的にパート練習を行い皆で意見を言い合い、協調性も高まりつつある。	100万円
グロリア少年合唱団	神奈川県	1959年創立し、鎌倉のカトリック雪ノ下教会に本拠を置き、カトリックの教育理念に基づき、教会音楽を通じて少年達の情操を育てる事を主眼として活動。ヨーロッパの伝統的スタイルを守りつつ、本格的宗教曲に取り組んでいる、日本では他に例を見ない少年合唱団である。年間の演奏会は、ポピュラーな作品も取り上げる定期演奏会、宗教曲を演奏する聖堂演奏会、コンサートホールでの特別演奏会、そして年末恒例となった「メサイア」演奏会が主なものとなっている。また、およそ6年に一度、オーケストラを伴って海外演奏旅行を実施。現在2歳から18歳までおよそ50名を擁し、ボーイソプラノだけでなく、変声後も引き続き在籍し、テノール・バスのパートを受け持っている。	スペイン	派遣84名	2027/3/25～ 4/3 (10日間)	◆グロリア少年合唱団 第7回海外演奏旅行 日頃から子どもたちが歌っている音楽が生まれた地、空間に赴き演奏することで、歴史や文化についてより深く学び、理解に繋げることを目的にスペイン各地の聖堂での演奏会を行う。今回は、7回目となる海外演奏でスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ、トレド、マドリド等に赴き演奏会を行うものである。本事業によって、団員や聴衆との音楽を通じた国際交流を行う貴重な機会となり、また、その地の音楽の歴史や文化に触れ、より深く学び、理解にもつながる機会となることを目指す。	100万円
大正琴新潟友の会内 琴リンピック実行委員会	新潟県	琴リンピック実行委員会の母体となっている大正琴新潟友の会は、1988年、新潟県下を中心に大正琴が大好きな愛好者の団体として発足。1999年「全国大正琴交流大会琴リンピック」を新潟で開催して以来、数回にわたって「琴リンピック」と称して全国の愛好者の交流会を開催。しかし高齢化がすすみ、若者の趣味の多様化などにより、大正琴の担い手が次第に減少。そこで、海外の子供達に大正琴を普及させようと「大正琴を世界に広げよう運動」を展開。無償で贈呈する大正琴は、全国から不要になった大正琴をあつめ、再生したもの。それが功を奏し、子供達の新潟での滞在費を実行委員会が持ち、来県した子供達に大正琴を1台ずつ贈呈するという「世界大正琴交流大会琴リンピック2016イン新潟」を2016年に開催し、以降2年おきに実施。	マレーシア、 インドネシア、 シンガポール、 ジョージア、 モンゴル、インド、 ネパール、 アゼルバイジャン	招聘100名	2026/7/16～ 7/20 (5日間)	◆第5回世界大正琴交流大会琴リンピック2026イン新潟 テーマ：「大正琴の輪を世界に広げよう 大正琴でつながろう つながれば、みんな元気、それも防災」 日本で生まれた大正琴の魅力、希望する国々に紹介し、無償で楽器を贈呈するとともに、演奏指導を行っている。現地の教育者たちは、大正琴が子どもたちの情操教育に役立つとして継続的に活動を行っている。一方で、日本国内では、不要となった大正琴を再生・寄贈することで、楽器に新たな命を吹き込み、ボランティアとしてメンテナンスを行う人々の生きがいにもつながっている。この取り組みは、高齢化が進む大正琴愛好者の中で、次世代への継承を目指す活動でもある。若い世代や海外の子どもたちに大正琴の魅力を伝えることで、文化の継承と国際交流の輪を広げている。	50万円
池田ジュニア合唱団	大阪府	阪神淡路大震災が起きた1995年「ここを歌声にのせてとどけよう」「からだいっぱいに歌う楽しさを感じ表現しよう」をモットーに設立され、現在4歳～9歳の研究生と10歳～17歳の本団生で活動中。また、今年創立30周年を迎える。「日中韩児童合唱祭」（上海）、「第10回世界合唱シンポジウム」（韓国）などへの出演や、ローンセストン、メルボルン（オーストラリア）、蘇州（中国）の他、昨年はバルセロナ（スペイン）の児童合唱団を池田市に迎え交流演奏会を行うなど、国内だけでなく海外の合唱団との交流と共演を積極的に続けている。	チャイニーズタイペイ (中華台北)	派遣20名	2026/7/18～ 7/20 (3日間)	◆2026 Summer Choral Exchange 池田ジュニア合唱団の団員が台湾を訪問し、台北児童合唱団との国際交流を深めることを目的としている。これまで台北児童合唱団はたびたび来日し、合同演奏や文化交流を行ってきたが、今回は初めて池田ジュニア合唱団が台湾を訪れ、現地での交流コンサートやホームステイを通じて相互理解をさらに深める。2025年の夏には関西万博のステージで両合唱団が共演し、その絆がより強まった。本交流を通じて、子どもたちは異文化を体験し、音楽を通じて国境を越えた友情と協調の大切さを学ぶ。また、異国の家庭での生活を通して、多様な価値観や生活習慣に触れ、広い視野と豊かな感受性を育む機会とする。本事業が、未来を担う子どもたちが国際的な感性を磨き、地域と世界をつなぐ架け橋となることを目指す。	50万円
津山日独交流会	岡山県	1989年設立。津山日独交流会のメンバーは主に、鶴山桜太鼓（津山市を拠点に活動している和太鼓集団。小学校に出張演奏や幼・小・中高校生に次世代を担う人材の育成も行っている）、リトルウィンド（旧：津山吹奏楽団、津山市を拠点に活動）で構成。1990年からドイツヴァンダーユーゲント（DWJ）との演奏会やホームステイを通じ、日独民間の国際交流を継続的にを行っている。 ・ドイツからの来日：1990年、1993年、1996年、1999年、2002年、2006年、2013年 ・ドイツへの訪問：2001年、2008年	ドイツ	招聘46名	2026/4/3 ～4/6 (4日間)	◆ドイツ・メムリンゲン ミュムリントール吹奏楽団 日独交流43周年友好演奏会 メムリンゲン ミュムリントール吹奏楽団の受け入れ（ホームステイ等）及び演奏会を通じて市民との国際交流（文化交流）を行う。また市内中学生・高校生と吹奏楽での合同演奏並びに交流を行うことで吹奏楽本場の雰囲気を感じてもらい更なるスキルアップにつなげるとともに音楽を元に国際交流（文化交流）を図る。	30万円